



欄に数値またはコメントを記入

<b>1. 建物概要</b>	
建物名称 <b>〈仮称〉アイ学園 有度幼稚園新築工事</b>	BEE <b>1.3</b> BEEランク <b>B+</b> ★★

<b>2. 重点項目への取組み度</b>			
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6 /5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.3 /5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.6 /5		がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4 /5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4点以上	ふつう 3点以上
			がんばろう 3点未満

<b>3. 重点項目についての環境配慮概要</b>		内訳対応項目		
各項目について記述した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。				
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)</b>		得点	3.6	
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ②直射日光の遮蔽と自然採光に配慮した。 ④主要内装仕上げ材の更新必要間隔に優れた材料を採用した。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的使用) ⑦高断熱化。 ⑨LED照明の採用。</p> <p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬廃棄物減量/⑭材料の使用回数) ⑪節水型機器を採用 ⑫内装はリサイクル材を採用するよう配慮した。 ⑬有害物質を含まない材料を選択するよう配慮した。 ⑭ODP,GWPが低い発泡断熱材を使用</p> <p>■敷地外環境対策 (⑮地球温暖化への配慮/⑯温熱環境悪化の改善) ⑮リン等間隔指標を0.5以上とした。</p>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ⑤ 2.2.3 ⑥ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑫ 1.2.2 ⑬ 2 2.1 ⑭ 2.2 ⑮ 2.3 ⑯ 2.4 ⑯ 2.5 ⑯ 2.6 ⑯ 3 3.1 ⑯ 3.2 3.2.1 ⑯ 3.2.2 ⑯ 3.2.3 ⑯ LR-3 1 ⑯ 2 2.2 ⑯	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外装仕上げ材の更新必要間隔 ⑥ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備設置の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存産業・施設等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑯ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑯ 持続可能な森林から産出された木材 ⑯ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑯ 有害物質を含まない材料の使用 ⑯ 消火剤 ⑯ 断熱材 ⑯ 冷媒 ⑯ 地球温暖化への配慮 ⑯ 温熱環境悪化の改善		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)</b>		得点	2.3
	<p>■サービス性能対策 (⑩耐震・免震/⑪信頼性)</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑩ 2.1.2 ⑩ 2.4 2.4.1 ⑪ 2.4.2 ⑪ 2.4.3 ⑪ 2.4.4 ⑪ 2.4.5 ⑪	⑩ 耐震性 ⑩ 免震・制振性能 ⑪ 空調・換気設備 ⑪ 給排水・衛生設備 ⑪ 電気設備 ⑪ 機械・配管支持方法 ⑪ 通信・情報設備	
		<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)</b>		得点
<p>■サービス性能対策 (⑫機能性・使いやすさ/⑬心理性・快適性/⑭空間のゆとり) ⑫バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。</p> <p>■室外環境(敷地内)対策 (⑰地域性・アメニティへの配慮) ⑰周囲の視線を遮らないよう防犯性の配慮した。</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑫ 3 3.1 3.1.1 ⑬ 3.1.2 ⑭ Q-3 3 3.1 ⑰	⑫ ユニバーサルデザイン計画 ⑬ 階高のゆとり ⑭ 空間の形状・自由さ ⑰ 地域性への配慮、快適性の向上		
	<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)</b>		得点	2.4
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境の保全と創出/⑲まちなみ・景観への配慮/⑳敷地内温熱環境の向上)</p> <p>■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/⑳温熱環境悪化の改善)</p>	Q-3 1 ⑱ 2 ⑲ 3 3.2 ⑲ LR-2 2 2.5 ⑲ LR-3 2 2.2 ⑲	⑱ 生物環境の保全と創出 ⑲ まちなみ・景観への配慮 ⑲ 敷地内温熱環境の向上 ⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 温熱環境悪化の改善		

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)アイ・アイ学園 有度幼稚園新築	階数	地上3F
建設地	静岡県清水区草薙一里山23-1の一部 他13筆	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、第一種住居地域 防火地域指定なし	平均居住人員	350 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,200 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	1.3 実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年7月11日
敷地面積	3,049 m <sup>2</sup>	作成者	伏見 信彦
建築面積	1,169 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,098 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安を示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	これはCASBEE静岡2016年版による評価結果である。建築物の環境品質については、ゆとりが有り維持管理のしやすい空間とすることで環境品質が向上するよう努めている。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
直射日光の遮蔽と自然採光に配慮した。化学汚染物質に配慮した建材を90%以上使用している。	内装、設備配管は維持管理がしやすく更新間隔が長い材を使用。換気が十分とれるよう配慮した。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明の採用。	節水型機器を採用。内装はリサイクル材を採用するよう配慮した。有害物質を含まない材料を選択するよう配慮した。	気象データを用いて風環境に配慮した。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される